

1 取組名称

国際性豊かな大学院生育成のための分野横断プログラム

2 取組組織等

理工学研究科（都市環境科学研究科分子応用化学域も協力）

3 取組実施代表者名

理工学研究科・物理学専攻・教授・住吉孝行

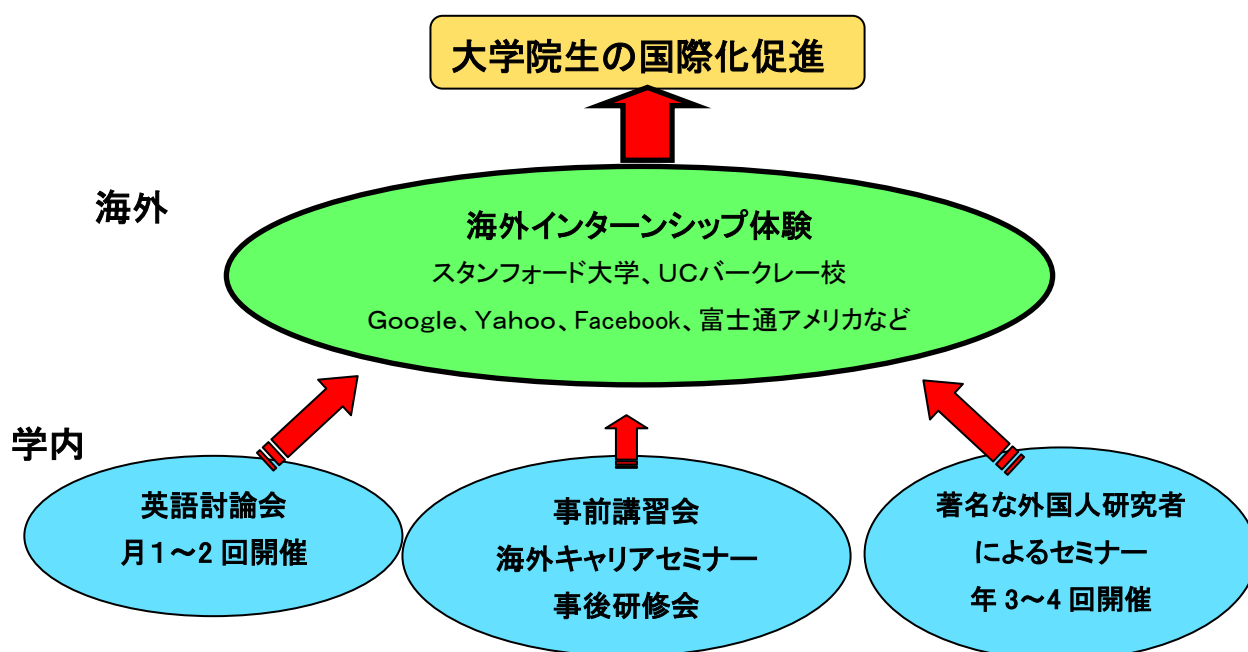
4 取組期間

2年間（平成23年度～平成24年度）

5 取組の概要

平成20年度から22年度に理工学研究科で試行的に実施した、大学院生の海外体験の企画『海外インターンシップ入門』を拡充した『海外インターンシップ体験』を実施する。22年度は都市環境科学研究科の大学院生も3名参加した。米国サンフランシスコ郊外にある大学（スタンフォード、バークレーなど）や企業（Google、Yahoo、Facebook、富士通アメリカなど）を訪問し、日本人研究者や技術者との交流を深め、海外で学ぶ（働く）ことの意味を肌で感じてくる。学生自ら大学の研究者にappointmentをとって訪問し議論する、事前に企業から出してもらった企画提案を発表するなどの課題を学生に課す。事前講習会、海外キャリアセミナー、事後研修会などを充実させ、より国際的視野を身に付けるための教育を推進する。

上記の『海外インターンシップ体験』以外に、月に1～2回程度、英語によるフリー討論会を実施する。この討論会には理工学研究科の外国人教員や留学生にも参加してもらう。また、様々な国際会議や研究会で日本を訪れている著名な外国人研究者を本学に招聘し、セミナーを開講する。これにより、大学院生に外国人研究者との会話をより身近なものに感じてもらう。



6 事後評価での総合評定

目的はほぼ達成された

7 事後評価に関する教育改革推進事業提案審査会での主な意見

- ・海外で活躍するモチベーション向上には効果がある。
- ・教育効果は高いと思うが、教育としてのコスト単価が高く、継続性に課題がある。